

# 三浦市 観光協会だより

一般社団法人三浦市観光協会  
三浦市南下浦町上宮田1450-4  
Tel :046(888)0588  
Fax:046(888)5914  
https://www.miura-info.ne.jp

令和3年11月号



## みうらおもてなしクーポン販売・利用開始！

三浦市の経済対策補助金交付事業として実施される、「みうらおもてなしクーポン」の販売が、10月19日（火）10:00にスタートしました。

新型コロナウイルス感染症で売り上げが落ち込む、市内のお店を応援するために実施されます。

昨年度の「みうらおもてなしグルメチケット」は紙ベースでしたが、今年は感染対策のため、スマートフォンやタブレット端末を利用し、非接触型で決済を行います。

市内各地の飲食店、食品販売店、宿泊施設などの「みうらのおもてなし」登録店舗でご利用いただけます。飲食だけではなく、日用品など全ての商品、サービスで利用可能です。

いちばんの特徴はその高いプレミアム率です。対象店にて5,000円で7,500円分のお食事やお買い物が可能で、プレミアム率は50%です。

三浦市民はもちろん、三浦市外の人もおトクに使える  
プレミアム付きデジタルクーポン

### みうらのおもてなし デジタルクーポン

**2021年10月19日（火）10:00販売スタート!**

デジタルクーポンの販売のみになります。ユーザー登録は10月13日（水）10:00から登録できます。  
クーポンの有効期限は、2021年10月19日（火）から2022年2月28日（月）まで

※販売予定になりましたら、販売開始とさせていただきます。予めご了承ください。

プレミアム率 **50%**

**みうらおもてなしクーポンは、5,000円が7,500円に。**  
(プレミアム付きデジタルクーポン)  
1人5,000円単位で最大10,000円購入可能。

「みうらおもてなしクーポン(プレミアム付きデジタルクーポン)」は、スマートフォンやタブレット端末を利用した非接触型決済方法です。市内各地の飲食店、食品販売店、宿泊施設などの「みうらのおもてなし」登録店舗にて利用いただけます。飲食だけではなく、日用品など全ての商品、サービスで利用可能(タバコなど一部対象外となります)があります。

クーポン購入に際しては必ずみずほ電子チケットコールセンター 0120-659-726 受付時間 9:00~18:00 までお問い合わせください。

三浦市観光協会 TEL 046-888-5950



三浦市内の登録店舗で利用できる大変お得なデジタルクーポンです。

10月27日9:00現在、販売実績は7000万円強、約10,000口となっています。

### 使 使い方

- QRコードをスマートフォンアプリで読み取り、クーポンをダウンロードします。
- クーポンの「利用/決済」ボタンを押して決済します。
- QRコードを店舗のレジで読み取り、クーポンが自動的に決済されます。
- 「金額入力」画面で利用額を入力します。
- お支払いの金額を確認して「OK」を押します。
- 決済完了後、画面に「決済完了」のメッセージが表示されます。

※みうらおもてなしクーポンは、そのお店で定める他の決済手段(現金やクレジットカード)と併用が可能です。詳しくは各店舗のメニューにご確認ください。

**必ずお店の方と一緒に画面の確認を済ましてください。**

### 買 購入方法

#### ユーザー登録

- スマートフォンアプリをダウンロードし、インストールします。
- 「新規登録」ボタンを押します。
- ユーザー登録画面で、登録情報を入力し、登録が完了するまで「登録」を押します。
- 入力したメールアドレスに「ユーザー登録完了メール」が届きます。メールに記載のリンク先からパスワードを設定し、パスワードの強度を確認します。

#### 購入・チャージ方法

- デジタルクーポン画面から「購入/チャージ」ボタンを押します。
- チャージ方法の選択画面が表示されます。
- お支払い方法を指定し、「お支払い」を押します。
- チャージ完了後、「購入/チャージ」画面でチャージ額を確認してください。

### チャージ方法

#### クレジットカード決済

- クレジットカードの情報を入力し、「確認」を押します。
- 内容を確認し、「支払」を押します。
- 本人確認(3Dセキュア)が完了したら、「完了」を押します。

#### コンビニ決済(現金)

- お支払いの金額を入力し、「確認」を押します。
- 内容を確認し、「支払」を押します。
- お支払い完了後、「完了」を押します。

#### J-Coin Pay決済

- J-Coin Payで支払いを行う店舗で「J-Coin Pay」を選択し、「支払」を押します。
- 画面に「J-Coin Pay」が表示されたら、「支払」を押します。
- 支払い完了後、「完了」を押します。

8月27日（金）に申請を行った首記事業が採択されました。

【事業の概要】

三浦市地場産品消費拡大協議会

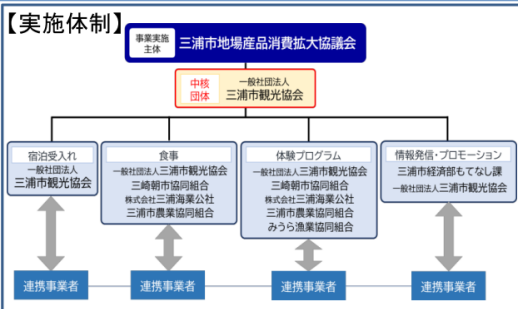
〔神奈川県三浦市〕

- 三浦市の「農業」「漁業」「観光」をフックに、日本全国ならびにafterコロナを見据えたい将来的なインバウンド需要取り込みを図る。
- 地域の回遊をコンセプトとして、農業・漁業体験と観光資源を活用・連携させ、三浦市での滞留時間と宿泊数の増加につなげる。
- 首都圏からのアクセシビリティを活かしたファン・リピート創出による地域活性化と、地域側によるプログラムの継続的な磨き上げと販路拡大、PR・マーケティング戦略立案・発信によって、持続的な観光地経営を目指す。
- 事業実施においては、三浦市地場産品消費拡大協議会による勉強会やワークショップ開催、事業の報告・相談を通じ、地域事業者との合意形成を図っていく。



【採択年度】  
令和3年度

【事業実施期間】  
令和3～4年度



【取組内容】

1年目

- プログラム開発**
  - ① 協議改革勉強会の開催(11月)
  - ② コンテンツの洗い出しワークショップ(11月・2回)
  - ③ 業種別コンテンツ開発ワークショップ(11月・2回)
- 国内旅行会社向けファムトリップ**
  - ① 国内旅行会社ファムトリップ実施(11~12月)
  - ② アンケートによる検証、改善(12月)
- モニターツアー開催**
  - ① 参加者募集(3月)
  - ② ツアー実施(2月中旬~3月上旬)
  - ③ アンケートによる検証、改善(3月)
- 販売体制の確立**
  - ① 国内個人旅行、国内向けOTAでの商品登録・販売(1~3月)
  - ② プログラム・ツアー集約WEBサイトの制作とOTA連携(1~3月)
  - ③ 旅行会社によるツアー商品化・販売(3月)

2年目

- プログラム磨き上げ**
  - ① 協議改革勉強会開催(5月)
  - ② コンテンツの洗い出しとブラッシュアップワークショップ(5~7月・2回)
  - ③ 業種別コンテンツ開発ワークショップ(5~7月・2回)
- 誘客に向けた情報発信・プロモーション**
  - ① 国内旅行情報サイト(たびこふれ)への記事掲載(9月)
  - ② 地域の魅力勉強会(たびこふれ)の実施(9月)
  - ③ SNSアカウント運用(8月~)
- 販売体制の確立**
  - ① 国内個人旅行、国内向けOTAでの商品登録・販売(9月)
  - ② プログラム集約WEBサイトの運用・改修と観光商品サイト・OTA連携(4月~)
  - ③ 旅行会社によるツアー商品化・販売(9月)
- 海外旅行会社向けオンラインセミナー**
  - ① インバウンド向けセールズツール制作(11~12月)
  - ② オンラインセミナーの実施(1月)
  - ③ セミナー実施の報告(1月)
- オンライン(ポプスモール)での地産商品の販売** (6月~)

◆検討している開発プログラム(一部)

| 既存観光資源                    | 連携事業者                     | 連携先                           | 連携先                       |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 早朝市めぐりと漁師ぶつくり体験と朝食        | マリンシーと食の掛け合わせ             | スケルトンカヤック体験と海陸バーベキュー&海産物成熟ワイン | 既存観光資源との掛け合わせ             |
| 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ     | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ |

| 目標項目   | 令和2年度実績 | 令和4年度(目標年) |
|--------|---------|------------|
| 売上高    | 0円      | 8,900,000円 |
| 延べ宿泊人数 | 0人泊     | 350人泊      |

「農泊」を農山漁村の所得向上実現の重要な柱として位置付け、「農泊」をビジネスとして実施するため、現場実施体制の構築、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げる取組等を支援する事業です。「農業」「漁業」「観光」をフックに、日本全国ならびにafterコロナを見据え、インバウンド需要取り込みを図ります。

三浦市地場産品消費拡大協議会が事業実施主体となり、三浦市経済部、三崎朝市協同組合などと協業のもと、三浦市観光協会も中核団体として一翼を担います。

【検討する開発プログラムの例】

| コンセプト                     | 既存観光資源                    | 連携事業者                     | 連携先                       | 連携先                       |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ | 三浦の食を「地産地消」するコンテンツとの掛け合わせ |

令和3年度~4年度に、①各種観光プログラムの開発、③ワークショップの開催、③国内旅行会社向けファムトリップの受け入れ、④モニターツアーの開催などを実施します。会員の皆様、お力添えのほど、何卒宜しくお願い致します。

# 【観光庁】既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業（交通連携型）

9月2日（木）に申請を行った首記事業が採択されました。

## 【事業の概要】

### 様式1 事業計画（東洋観光株式会社）

#### 【事業の代表者及び参加者】

計画の代表者：東洋観光株式会社

参加者：（公社）鎌倉市観光協会、（一社）横須賀市観光協会、（一社）三浦市観光協会

#### 【事業の目的】

##### 背景：

来年度、鎌倉を舞台としたNHK大河ドラマ（鎌倉殿の13人）放映にあたり、鎌倉を中心に三浦半島中西部～三浦市にかけて、ドラマにゆかりのある新観光名所となる多数のコンテンツが広範囲に点在する。

一方、三浦半島西部においては、鎌倉市から横須賀市を經由し三浦市へ直行でアクセスできる交通手段がない。その為、鎌倉に多くの観光客が来訪しても、その先の三浦半島中西部にある（ゆかりの地）へ誘引する直接的な手段がない。（右記地図参照→）

##### 現状の課題：

鎌倉市側の課題／ドラマ放映によって多くの来訪者が予想される為、オーバーツーリズムと観光地の密対策を図ることが早急な課題。

その為、鎌倉へ来訪された観光客を分散させる仕組の1つとして（ゆかりの地）のある他都市への誘導ができる手法が求められている。

横須賀市・三浦市側の課題／（ゆかりの地）をPRし、ドラマから生じる新しい観光客層の取り込みや宿泊客を誘引する手法が必要。

##### 事業目的：

鎌倉市から三浦市を直線で結ぶ三浦半島西部の新交通手段開発の為の実証運行【鎌倉殿の三浦版図計画】※版図とは勢力＝行動域拡大を意味する

実証運行により、バス利用のニーズや意見・要望を検証をする。その検証をもとに来年度以降、三浦半島西部の新交通手段として、

アクセスバスや、定期観光バスを開発をすること。

加えて実証運行中に三浦半島広域の（ゆかりの地の紹介）をはじめ、多くの魅力を発信する為の、映像制作（バス内放映用とYouTube動画）を事業内で実施し、それぞれを発信する。



#### 【実施する事業の概要】

事業の目的に即して実施する事業について、補助対象事業者を含む実施主体、事業期間、実施する事業の概要（運行区間、実施する計画の概要等）を記載してください。

実施主体：東洋観光株式会社

実証運行期間：令和4年1月24日(月),26日(水)28日(金),29日(土),30日(日),31日(月),2月2日(水),4日(金),5日(土),6日(日)

1日各市発2便×2市＝4便×10日間 合計延べ40台運行

運行区間：鎌倉市（鶴岡八幡宮付近駐車場）～横須賀市（浄土宗浄楽寺）～三浦市（うらりマルシェ周辺駐車場）の相互運行

運行費用：実証運行ではモニターとして運行利用者を募り、無料乗車とする。利用条件として、アンケート調査への協力を要請する。

実施主体組織：東洋観光株式会社を中心に、各市の観光協会が地域調整や広報活動、ゆかりの地紹介の映像制作、当日の運行補助などを協力する。

地域等が作成した「観光拠点再生計画」に基づき、全国100か所を目安に観光拠点を再生し、地域全体で魅力と収益力を高める事業です。

令和4年1月9日から放送予定の、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機として、今まで直行でアクセスできる交通手段の無かった、三浦⇔鎌倉を結ぶアクセスバスの実証運行事業を行います。

令和4年1月末～2月上旬の間に、1日4便×10日間、延べ40台を運行します。

運行実施主体は東洋観光（株）で、三浦市観光協会・鎌倉市観光協会が協業のもと、広報活動や地域の情報発信、人材育成、当日の運行補助、アンケート調査、報告書作成などを行います。

## 【運行案】

### 具体運行（1）

実施主体：東洋観光株式会社  
 実証運行期間：令和4年1月24日(月),26日(水),28日(金),29日(土),30日(日),31日(月),2月2日(水),4日(金),5日(土),6日(日)  
 1日各市発2便×2市＝4便×10日間 合計延べ40台運行  
 運行区間：鎌倉市（鶴岡八幡宮付近駐車場）～横須賀市（浄土宗浄楽寺）～三浦市（うらりマルシェ周辺駐車場）の相互運行  
 運行費用：実証運行ではモニターとして運行利用者を募り、無料乗車とする。利用条件として、アンケート調査への協力を要請する。

各々地第1便運行  
 13:30発 鎌倉市 → 16:15着 三浦市  
 16:15発 三浦市 → 18:30着 鎌倉市

各々地第2便運行  
 17:00発 鎌倉市 → 18:30着 三浦市  
 18:30発 三浦市 → 17:00着 鎌倉市

ナイト・早朝観光 宿泊プラン紹介 + 鎌倉市 直行 三浦市 + ナイト・早朝観光 宿泊プラン紹介

## 【体制図】



補助対象期間終了後は、鎌倉市～三浦市にかけて三浦半島西部に、アクセスバス、または定期観光バス運行の新規ルートを確立し、継続的な運行を目指します。

## マンホールカードについて



マンホールカードは、下水道広報プラットフォーム(GKP)が企画・監修するマンホール蓋に特化した広報アイテムです。

市町村とGKPが共同で作成しており、三浦半島地域では、一部地域(横須賀市、葉山町)において、既にマンホールカードが配布されています。

三浦市役所第2分館2階下水道課窓口、及び三浦市観光インフォメーションセンターで配布しています。

観光協会では、10月までに200枚強の配布を行いました。



## みうら観光ガイド協会養成基礎講習会を開催しました



「みうら観光ガイド養成基礎講習会」が開催されました。

10月3日(日)市民交流センターでの説明会を皮きりに、10日(日)三浦市観光インフォメーションセンター2階会議室で第一回目の講習会が開催され、草川会長による挨拶ののち、皆様熱心に講習をお受けになられていました。

また、17日には三崎魚市場で、24日には城ヶ島区民センターで、31日には油壺会館で講習会が開催されました。併せて、現地研修も実施され、三浦市の概要や歴史、地層や景観などについて研修を行いました。



## 令和3年度「三浦海岸桜まつり」について

10月25日(月)南下浦市民センターで第一回運営委員会が開催され、①令和2年度収支決算、②令和3年度事業概要案、③令和3年度予算案について事務局から説明がありました。内容は以下の通りです。

【開催期間】 令和4年2月5日(土)～3月6日(日) 30日間

【会場】 三浦海岸駅～小松ヶ池公園

【ポイント】 ●お迎え式等駅前集客イベントは実施しません。

●沿道ライトアップは実施しません。

●緊急事態宣言、まん防発出期間中は開催を中止。再開は運営委員会で協議します。

●駅前グラウンドを使用できない可能性があるため、公共交通機関利用呼びかけや、松原駐車場、近隣コインパーキングをご案内します。

### 事務局より(11月の予定)

1

#### 観光セールスプロモーション

11/1～2に群馬県、11/11～12に山梨県内の旅行会社に、訪問セールスを行います。

2

#### ちよだ秋葉原マルシェ

11/19～20、JR秋葉原駅昭和通り口の秋葉原公園で、物産の販売を行います。